

図書館通信



令和2年2月20日(木)

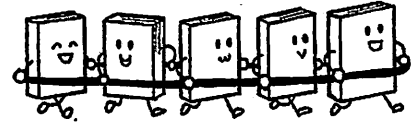
第 87 号

千葉県立沼南高柳高等学校図書館

令和初の“立春”が過ぎ、暦の上ではもう春です。

暖冬、新型肺炎コロナウイルス、東京オリンピック…などなど、私たちに届く毎日の情報は膨大で様々です。それら多くの情報の中から、どれが自分にとって必要なのか、また、必要としなくても知っておくべき事なのかは、人それぞれですが、高校生である皆さんには、出来るだけ多くの情報を取捨選択出来る読み取る力(メディアリテラシー)も沼高図書館で、色々な本と出会って、学んでほしいと願っています。

◆◆～本を選ぶ技術などというものはない



人が選ぶと同時に本に選ばれているのが読み手である～◆◆

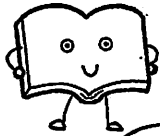
(沼高図書館所蔵：五木寛之著『選ぶ力』文春新書2004年より)

現在図書館では、1年生全クラスの家庭総合で「人生の先輩に学ぶ」という授業が行われています。実際に先輩をお招きしてお話を伺う前に、自分の人生にとって役立ちそうな本を2冊選んでみました…。授業では、こうしたテーマをもとに本を選びますが、休み時間など、自分の時間を使って自ら本を探しに来館する生徒もいます。どんな形でも、そこで出会った本は、まさに五木氏がいうように、あなたに是非読んでほしいと本に選ばれているのかも知れませんね…。また、五木氏は本中で「人生は選択の連続である…あなたは自分の道をどう探すのか…」とも語っています…。何万冊もの沼高図書館所蔵本の中からこの本を司書が選んで皆さんに紹介していることも“本に選ばれた縁!?”なのかも知れません…。ちょっとワクワクしてきたら、本との出会いを求めて、早速図書館に寄ってみませんか？

～読みたい 知りたい 癒されたい～

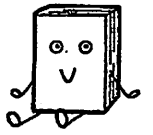
そうだ ☆☆ 図書館に行こう！

※新着図書案内



▼今年度の新着図書案内も今月と来月のみとなりました。

予算の許す限り紹介しますのでお楽しみに!!▼



分類	著 名	編者著者名	出版社
123 ヤ	物語として読む全訳論語・決定版	山田史生	トランスビュー
104 イ	あたりまえなことばかり	池田晶子	トランスビュー
024 イ	本屋でアジアをつなぐ	石橋毅史	ころから
024 イ	●本屋な日々 青春篇	石橋毅史	トランスビュー
371 ト	ほんとうの道德	苫野一徳	トランスビュー
104 サ	●生きることの豊かさを見つけるため	齋藤幸	トランスビュー
780 ト	東大教授が教えるとおきぼ'ツ上		少年写真新聞
726 ホ	●いろいろなんなからだのほん	アリ・ホフマン著 ロス・アスクイス絵	少年写真新聞
913 カ	●熱源	川越宗一	文藝春秋
913 カ	天地に燦たり	川越宗一	文藝春秋
913 サ	山海記	佐伯一夫	講談社
913 タ	山の上のランチタイム	高森美由紀	中央公論新社
913 ハ	うたかた姫	原宏一	祥伝社
913 フ	●背高泡立草	古川真人	集英社
367 ヤ	「家族の幸せ」の経済学	山口慎太郎	光文社
498 ミ	●食べる投資ハートが教える世界最高	満尾正	アチーブメント出版
490 イ	1日1ページ読むだけで身につくか	デヴィッド・S・セー他 久原	文響社
721 オ	北斎の富嶽三十六景	大久保純一	小学館
914 ミ	山猫珈琲 上巻	湊かなえ	双葉社
914 ミ	山猫珈琲 下巻	湊かなえ	双葉社
913 ハ	トップナイフ	林宏司	河出書房新社
913 ミ	草花たちの静かな誓い	宮本輝	集英社
913 オ	サヨナラまでの30分	大島里美	集英社
913 サ	ファミリーポートレート	桜庭一樹	集英社
913 ミ	黒武御神火御殿	宮部みゆき	毎日新聞出版
913 ナ	小説 安楽死特区	長尾和宏	ブックマン社
913 リ	かか	宇佐見りん	河出書房新社
913 マ	●オリオンと甘夏	増山実	KADOKAWA
913 ホ	●背中の蜘蛛	菅田哲也	双葉社
913 ナ	わたしの美しい庭	凧良ゆう	ポプラ社
913 ア	●大名倒産 上	浅田次郎	文藝春秋
913 ア	●大名倒産 下	浅田次郎	文藝春秋
455 ヤ	●富士山はどうしてそこにあるのか	山崎晴雄	NHK出版

●古典と心から楽しむエッセイ風の解説書です。

●頭で考えていても、人生への悩みは解決しきれない!?!...

●第16回直木賞受賞。

●著者誘致デビュー10周年記念のエッセイ本です。

●笑いあり涙ありの経済エンタテインメント...

→●情熱にかられて本屋と行った若者たちのノンフィクションです。

→●自分の体で、実はどんなにすばらしいか知ってほしいか?

→●第16回芥川賞受賞。

→●日本の雑学は20年遅い? ...
メンタルには食べ物で救える。
1日4色の野菜が体内炎症と防ぐ?!

→●大阪府府本大賞受賞の著者が描く切なにも愛しい町と人の物語。
「人はいつだって誰かを持てないのか」

→●地開きから見る日本列島史です。

→●今のとっちは? フィクションの警察小説とは。